

■田沼意次 側用人・老中。権勢背景に、斬新な経済政策を推進、譜代大名の妬みで賄賂政治を問われて失脚・憤死。

ためまおきつぐ

・ ・ ・ ・ ・ 1719= 紀伊徳川家の足軽で吉宗が将軍になるとともに江戸に移って旗本となった田沼意行の子に生まれる。

徂徠没 ・ ・ ・ 1728 = 9歳 :

享保大飢饉 ・ 1732 = 13歳 : 初めて将軍吉宗にお目見得。

・ ・ ・ ・ ・ 1734 = 15歳 : 江戸城西丸御小姓となる。父が死去、

昆陽蕃蕃考 ・ 1735 = 16歳 : 家督を継ぎ、元服して意次と名のる。

・ ・ ・ ・ ・ 1737 = 18歳 :

徳川吉宗隠居 1745 = 26歳 : 家重が9代将軍になったのに従い、江戸城本丸に入る。以後、順当に出世。

昔原伝授十 ・ 1746 = 27歳 :

義経千本桜 ・ 1747 = 28歳 : 小姓組番頭格、

忠臣蔵 ・ ・ ・ 1748 = 29歳 : 小姓組番頭、

徳川吉宗没 ・ 1751 = 32歳 : *将軍家重の御側衆となった。

自然真営道 ・ 1755 = 36歳 :

この間、加増を重ね、

宝暦事件 ・ ・ 1758 = 39歳 : 所領の合計が1万石となって、大名となり、評定所への出座を命じられる。

大岡忠光没 ・ 1760 = 41歳 : *家重が死去、家治が10代将軍になり、実権を握ってきた大岡忠光も死去して、“田沼時代”が始まる。

・ ・ ・ ・ ・ 1762 = 43歳 : 5000石加増、

加賀千代句集 1764 = 45歳 :

明和事件 ・ ・ 1767 = 48歳 : 側御用人となって知行2万石に加増され、遠江相良に築城。

・ ・ ・ ・ ・ 1769 = 50歳 : 老中格(知行2万5000石)、

田沼意次老中 1772 = 53歳 : *老中に栄進し、知行高も漸増した。以降、幕政に本格的に参加、

大原騒動 ・ ・ 1773 = 54歳 :

経済政策を中心に、次々と改革を実施するが、

天明大飢饉始 1782 = 63歳 :

蘭学階梯 ・ ・ 1783 = 64歳 : 若年寄となった子の意知が、佐野政言に江戸城中で傷つけられて死ぬという事件が起き、

以後、力は急速に衰え、

蝦夷初調査 ・ 1785 = 66歳 : 5万7000石になる。

田沼意次失脚 1786 = 67歳 : *将軍家治の死を機に、差控を命ぜられ、

寛政改革始 ・ 1787 = 68歳 : 相良城も没収されて、孫意明がわずかに1万石の領主として家名を継ぐことを認められただけで、

・ ・ ・ ・ ・ 1788 = 69歳 : 失意のうちに、没した。